

# 安中市 議会だより



◆発行日 令和4年7月26日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 上武印刷株式会社

## 夏の風物詩 磯部築



令和4年安中市議会第2回定例会は、6月6日から6月20日までの15日間の会期で開催されました。この定例会に市長から提出された議案は、人事案件が1件、条例の一部改正など3件、合わせて4件でした。

また、議員提出議案として意見書案が2件提出されました。

## 定例会のあらまし

- ◇6日〓本会議 会期の決定、議案4件を上程(内1件を即決)。議案を各委員会に付託。
- ◇9日〓総務文教常任委員会
- ◇10日〓福祉民生常任委員会
- ◇13日〓経済建設常任委員会
- ◇15・16日〓本会議 一般質問
- ◇20日〓本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案3件を可決。議員提出議案2件を可決。請願・陳情審査報告、質疑、討論、採決。閉会。



今定例会における一般質問は、6月15日と16日に行われ、10名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

PCやスマホでも

議会をご覧ください!

次の定例会市議会は、9月2日～9月26日までの予定です。



おほ たか 貴雄  
さとう 藤 佐 (民声クラブ)

## 子どもの権利・市長の所信表明について

### 公立中学校の校則について

**問** 中学校の校則は身だしなみを学ぶ学習のことだが、国際社会や多様性を学ぶ中、髪の長さや縛り方、靴下の色まで強制することに疑問を感じるがどうか。

**答** 多様性を認め、協働する力を培うことは大切です。

**問** 生徒や保護者の意見を聞き校則の見直しを行うことは。

**答** そういった事例もあります。

**問** 給食費無料化に代えて、制服等の無償支給や就学援助の拡大をしていくことはどうか。

**答** 学びの支援は、より有効な支援策を考えていきます。

**問** 児童生徒のマスク着用について

**問** 子どものマスク着用による心身への影響をどう考えているか。

**答** 呼吸の苦しさや熱中症、人間関係やコミュニケーション力の育成に心配があります。

**問** 食育の観点からも給食時の黙食を緩和すべきではないか。

**答** 食育の観点はありますが、黙食を緩和すべきではないか。

**答** 給食時は感染リスクから現時点で緩和は難しい状況です。

**問** 登下校や屋外はマスクを外してもよい。子どもたちの顔が見える日常を取り戻すことが必要だが、考えはどうか。

**答** 学校教育は児童生徒の命と健康を守り、学びを止めずに活動しています。文部科学省のガイドラインを基本に、児童生徒により良い学びの環境を整えます。

**その他、市長の所信表明について質問しました。**



黙食での学校給食の様子



### 観光振興・学校行政について

**道の駅整備に向けた取組について**

**問** 過去の考え方を踏まえた市長の今後の考え方は。

**答** 観光地域振興に資し防災としても活用できる位置で松井田インターから軽井沢インターまでの間がベターですが、西毛広域幹線道路沿線も視野に入れます。

**問** 多くの道の駅で珍しい野菜の販売やレシピの紹介、特産品の開発等の工夫が目立つが、担当職員の経験値や知識、発想力等の必要性は。

**答** 安中独自の魅力的な整備のため職員の知識の積み上げと計画立案のための発想力は必要です。

### 学校給食の課題について

**問** 給食調理業務を民間委託することについて、市長の考えは。

**答** 民間活力を導入し調理員欠員への対応ができ、安全で安心な給食の提供が図られると考えます。また調理員の継続雇用についても働きかけをし、賃金面で

も話をしていきます。

**問** 食材価格等上昇のなか現場の状況をどうとらえ、今後さらに高騰した場合の対応は。

**答** 現在は質・量を落とすことなく献立の工夫や食材の選定により対応しています。今後食材費に不足が出れば公費負担します。

**問** 給食費の無償化の考え方は。

**答** 事業継続については慎重に対応します。無償化は国が制度化し自治体へ財政措置されるよう国に対して要望していきます。



安中第一中学校の給食室

### 公共交通の整備について

**問** 乗合タクシー・デマンドタクシーの拡充や行路・時刻の見直しを検討してきた。その現状は。

**答** 令和3年度に板鼻栃谷戸方面への路線延伸を行い、デマンド運行では、病院等への乗り入れを開始しました。この見直し等により利便性が向上しています。

**問** 市長は、重点政策の中で、高齢者や運転免許返納者の移動支援として、乗合タクシーの拡充を掲げている。具体的な構想は。

**答** 令和3年3月にAーデマンド配車システムを提供している企業と連携協定の覚書を締結しました。締結以降、乗合タクシーの市内全域への拡大や、全日デマンド運行の導入等の実施に向けた調査研究を進めています。

**問** 一律定額料金で乗車でき、どこでも乗降できる乗合タクシーを運行すべきである。考えは。

**答** フルデマンドの導入や乗合タ



### 公共交通機関・観光振興・文化、芸術振興について

クシーの拡充は、運行距離の増大、車両の増備などが想定され、利用者負担の軽減や、細やかな停留所の設置なども必要となります。利用者の利便性に最大限配慮しつつ、多くの市民や旅行者・来訪者に公共交通を活用していただけるように検討を進めていきます。

**その他、磯部温泉の活性化、碓氷峠の森公園周辺整備、市立美術館・ギャラリーの設置について質問しました。**



安中市乗合タクシー



### ひとり親世帯への支援・動物愛護について

ひとり親世帯への支援について

問 養育費確保事業は、弁護士等

による個別相談支援が目玉の事業と思うが、相談体制はどうか。

答 市民相談室を窓口、司法書

士に公正証書作成や保証契約締結経費等について定期的に相談できる体制や、弁護士個別相談は、月2回開催している無料法律相談等の利用を考えています。

ひとり親家庭就業支援について

問 就業に結び付く技術や資格習

得費用、就学期間の生活費の一部補助の利用状況はどうか。

答 令和3年度は6件ありました。

動物との共生について

問 前橋・高崎市を除く愛護セン

ターの犬猫の処分頭数はどうか。

答 令和2年度の犬処分数は49頭、猫は587匹です。

問 飼い主のいない猫は、TNR

活動(地域猫活動)で殺処分させない事が重要だがどうか。

答 さくら猫無料避妊・去勢手術



新富岡大橋下の  
富岡市城下公園ドッグラン施設

助成事業に参加し、地域住民や

動物ボランティア等と連携し、

多頭飼育等の猫へ、令和3年度は、18匹に手術をしました。

ドッグラン施設について

問 市内への施設整備はどうか。

答 現時点では施設の計画はありません。市民ニーズを把握し先進事例等を研究していきます。

問 市営公園等への設置はどうか。

答 鳴き声や臭い、公園利用者、地域住民の理解等の課題もあり、慎重に検討します。



### がん患者支援・福祉支援・観光振興・花を活用したまちづくりについて

若年がん患者住宅療養支援事業について

問 今年度から、公的支援制度が

限られている若年末期がん患者の方に対し、在宅介護サービス利用料金の一部を、県と市町村で助成する事業が創設されたが、本市の実施は。

答 制度化されているだけでも、患者とその家族の心理的・経済的な負担が軽減すると考えられますので、県や関係機関と連携を図りながら検討を進めます。

ヤングケアラー対策について

問 実態把握の現状は。

答 児童生徒対象の実態調査を7月をめどに、児童生徒に配布されているタブレット端末を活用して行う予定です。

問 把握できた児童への支援は。

答 状況に応じた支援を可能な限り行っていくよう考えています。

問 安中まち歩きの休憩所について

答 まち歩きをされる方の休憩所

がなくて、整備が必要と思うが、検討していきたいと考えています。



まち歩き観光パンフレット

問 まち通りの空き家や空き店舗等を活用するなど考えは。

答 空き家対策としても、地域の活性化対策としても有効なことと思われま。

問 休憩所を開設した場合の事業維持に関する補助金の取組みは。

答 関係部署も含め、今後検討していきたいと考えています。

その他、1項目を質問しました。

中山道の面影を訪ねて歩く

TNR活動…野良猫を捕獲、避妊去勢し元いた場所に戻す活動。「Tトラップ、捕獲」、「Nニューター、避妊去勢」、「Rリターン、猫を元の場所に戻す」の略。

ヤングケアラー…本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども。



こやま しょうこ  
議員 (公明党)

**原油価格、物価高騰対応分地方創生臨時交付金の活用・ウクライナ支援・生き辛さを抱えている方への支援策について**

**生活支援について**

**問** 長引くコロナ禍、ウクライナ情勢の影響で暮らしを支えるがソリンや食料品などの値上がり相次ぐ中、地方創生臨時交付金を学校給食費の負担軽減に活用する考えは。

**答** 給食提供に支障が生じる場合は、公費で対応します。

**問** 生活困窮者や子育て世帯への給付金の上乗せの考えは。

**答** 住民税非課税世帯生活応援商品券給付を生活支援と位置づけました。

**事業者支援について**

**問** バス・タクシーなどの地域公共交通やトラックなど地域物流の経営支援の考えは。

**答** 事業者サポート給付金の交付が可能です。長引く場合は検討します。

**本市独自の支援策について**

**問** 本市の課題点は。  
**答** 税の扶養になっていない高齢者

のみの世帯や、非課税世帯でなくとも大変との意見があります。

**問** 今後の支援策は。

**答** 市民の声に応える商品券事業は、地域の活性化や全市民を応援するものです。

**ウクライナ支援について**

**問** 市の支援計画は。

**答** 市営住宅7戸を準備し、他にも生活必需品の提供や就労、医療支援などを検討しています。

**その他、生き辛さを抱えている方への支援策を質問しました。**



学校給食の様子



さくらい ひろこ  
議員 (日本共産党安中市議団)

**太陽光発電施設開発・学校給食・人間ドックについて**

**開発で使用した、区域外の市道の復元の問題について**

**問** 下秋間に民間事業者が開発を進めてきた太陽光発電施設は、すでに令和2年秋頃から稼働しているが、開発区域外の搬入道路で使用した農地や市道の復元がされず農地に入れない等、解決されていない。道路の現状回復はいつ頃どうなる見込みか。

**答** 工事の終了に伴い、復元したと聞いていましたが、隣接関係者等から、市道の境界を明確にしてほしいと要望があり、開発事業者に境界の復元を依頼しており、今後、現地にて確認を行うことになっています。

**問** 開発区域内のり面との境界の市道を横切って搬入していたので、市の指導が必要では。

**答** 市道の境界が復元後、隣接関係者や開発事業者等と立ち合いを行い、道路の復元について協議し、必要に応じ、事業者に対して指導を行います。

して指導を行います。

**『緑のダム』とした所の問題について**

**問** 北側の『緑のダム』の所は、水が湧いていた所。今もわずかに流れている。大雨の時など、被害があつたらどうするのか。

**答** 森林の維持管理については、令和3年3月23日付、市と事業者で締結の残置森林等保全に関する協定書に基づき対応します。

**その他、2項目について質問しました。**



下秋間太陽光発電所北のり面の『緑のダム』



小林 克行  
こばやし かつ ゆき  
小 (民声クラブ)

### 観光振興・農林業の振興・信越線 活性化・市民幸福度向上について

**温泉街復興について**

**問** 悪臭への対応は。

**答** 一部農家に堆肥臭をナッツ臭に変える薬剤の使用を依頼していますが、豚糞発生の影響で未実施の状態です。

**問** 温泉街中心部のトイレ及び駐車場整備の再検討は。

**答** 磯部温泉活性化協議会(仮)を早期に設置し、検討します。

**秋間梅林について**

**問** 高崎市の6次産業化補助金は、整備事業に1000万円、商品開発に200万円と、安中市とはかなり開きがある。増額を検討すべきでは。

**答** 安中市では、施設整備に100万円、商品開発に7万円の補助額となっています。

**問** 農家全体で使える加工場の提供は。

**答** 地域おこし協力隊や観光協会と調整し検討します。

**新駅設置について**

**問** 他市の事例は。

**答** 平成16年に開業した高崎問屋町駅は、構想から開業まで10年間、整備費用は約16億円です。

**公立碓氷病院について**

**問** 病院の課題や、あり方検討委員会に対する市長の考えは。

**答** 医師確保が喫緊の課題であり、あらゆる手を尽くします。また、地域医療連携推進法人を立ち上げた栃木県日光市の取組を研究し、あり方検討委員会の委員構成等も再度検討します。



コロナ収束後の復興が望まれる磯部温泉



おほ 次雄  
つぎ ともたけ  
もたい 壱 (新公会)

### あんなかスマイルパーク・企業誘致について

**あんなかスマイルパークについて**

**問** ケルナー遊具の設置見直しは。

**答** 社会情勢を見ても往来規制は大幅に緩和されており、関係者との連絡調整を実施しています。

**問** 設置後の遊具に対する管理体制は。

**答** ケルナー遊具は、日常の管理点検だけでなく、遊びを指導し見守りを要する遊具であるため、スタッフを常駐させ安全管理に努めていく予定です。

**問** 芝生広場の利用について、グランドゴルフなど軽スポーツへの取り組みはどうか。

**答** 関係者からの要望等により、近隣住民の方々の意見も伺いながら、柔軟に対応できるような検討していきます。

**企業誘致について**

**問** 企業誘致推進に向けたプロジェクトチームの役割は。

**答** あんなか再起動プロジェクトチームと名付け、市長の公約を

推進することを目的としています。

**問** 企業誘致推進に向けたマスタープランの見直しについては。

**答** まちづくりの具体性ある将来ビジョンを明確化し、産業拠点として、通勤や広域な物流のための交通の強化を図るべき、大規模産業用地や工業団地を位置付けます。

**その他、人材育成の強化、実務経験者の獲得について質問しました。**



あんなかスマイルパーク  
ケルナー遊具設置予定地



かない ひさお 金井久男 (日本共産党安中市議団)

### 新庁舎建設基本構想・土地開発基金・農業振興・税制について

#### 建設地選定に対する精査について

**問** 精査について、どこに問題があり、どのように精査するのか。

**答** 精査のポイントとして12項目を挙げて、現在検討し精査を進めています。

**問** 精査した結果について、当然建設地の見直しもあり得ると解釈してよいか。

**答** 建設場所を含め精査の対象になっていきます。

#### 土地開発基金について

**問** 今年度一般会計で買い戻す予定の土地は、30年も前に購入している。どのような目的で購入したものか。

**答** 売却予定の2カ所の土地は、都市公園用地と土地区画整理事業を推進する目的で取得したものです。

#### 地域ブランドの商品と契約栽培の推進について

**問** 大豆の契約栽培と醤油生産について生産者に所得補償的な支

援をしていく見通しは。

**答** 遊休農地の解消になるように補助事業活用していけるように検討していきます。

#### インボイス制度について

**問** 登録業者になれば零細業者も増税になり、登録しなければ取引から除外され廃業する業者が増える。議会では、「制度の中止」の意見書が上がった。国に向けて市長の意見を上げるべきだ。

**答** 商工会などに、業者に向けて相談窓口を設けていきたいです。



精査の対象になった旧安中高校跡地

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。その他の議案は、全員賛成で可決されました。

## 令和4年第2回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案名	議席番号																				結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
議員名	金井久男	櫻井ひろ江	松本次男	金井登美雄	長嶋陽子	武者葉子	小林克行	佐藤貴雄	小林訂史	遠間大和	豊次雄	巽久男	高橋由信	柳沢吉保	小川剛	柳沢浩之	今井敏博	吉岡完司	奥原賢一	田中伸一	
議案第73号 安中市立学校設置条例の一部を改正する条例について	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決

※議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

### 第2回定例会 人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

#### ●人権擁護委員

松井田町新堀  
前澤明成

### 第2回定例会 人事関係以外の議案

●安中市立学校設置条例の一部を改正する条例について

安中市立松井田北中学校を安中市立松井田中学校に統合することに伴い条例の一部を改正するものです。

#### ●訴えの提起について

●令和4年度安中市一般会計補正予算(第2号)

### 意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることが出来るものです。今定例会には、2件の意見書

（案）が提出され可決されました。  
《可決された意見書》

●医療費助成（現物給付方式）への国のペナルティ全廃と18歳までの子ども医療費無料化制度実現で子ども医療費助成制度の改善を求める意見書（案）

●地方財政の充実・強化に関する意見書（案）

可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国会及び関係省庁に送付しました。

## 請願・陳情

皆様から提出されました請願の審査結果は、次のとおりです。

《一部採択となったもの》

●松井田北中学校及び細野小学校の他校への統合の中止を求める

請願

《継続審査となったもの》

●「地すべり防止区域」及び「土砂災害警戒区域」の太陽光発電所設置開発の安全確保に関する

請願



### 医療費助成（現物給付方式）への国のペナルティ全廃と18歳までの子ども医療費無料化制度実現で子ども医療費助成制度の改善を求める意見書

必要な時に安心して医療機関を受診できることは、子どもたちの心身の健やかな成長のために必要不可欠であり、多くの国民の願いでもあります。自治体による子ども医療費助成制度は、全国でも群馬県でも欠くべからざる存在となっています。

自治体による子ども医療費助成制度は、この10年間で大きく広がりました。厚生労働省の調べでは、2020年4月1日現在で、中学校卒業以上の年齢まで医療費助成をしている全国の自治体は、「通院外来」で92.4%、「入院」で97.6%に達しています。

群馬県においても、市町村と連携し、中学校卒業までの子どもや、重度心身障害者等の医療費を無料化し、早期受診による慢性疾患の重症化防止などに効果を上げています。

一方、国では、このような医療費助成（現物給付方式）の取組に対して、国民健康保険国庫負担金等を削減するペナルティを科しており、地方自治体による子育て環境づくりや障害者等の支援の取組を阻害しています。

少子化対策や福祉施策として、子ども医療費助成制度等の改善を安定的に進めるためには、国による統一的な制度創設が必要であり、子育て世帯の経済的な負担軽減と、安心して子どもを産み育てられる環境づくりが求められています。

よって、すべての子どもたちの健やかな成長のために、子ども医療費助成制度の改善が図られるよう、下記の措置を講じられるよう強く要請いたします。

#### 記

1. 子どもの医療費助成制度を現物給付にした市町村への国民健康保険への国庫補助の削減は少子化対策にも逆行するものであり、ただちに全廃すること
2. 18歳までの医療費無料化を国の制度として早期に実現すること

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。



## 地方財政の充実・強化に関する意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化の進展にともなう子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、また人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、あるいは行政のデジタル化推進など、より新しく、かつ極めて多岐にわたる役割が求められつつあります。

しかし、現実に地域公共サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、新型コロナウイルス、また近年多発している大規模災害への対応も迫られています。これらに対応するための地方財政について、政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしていますが、それをもって増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されています。

このため、2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、以下の事項の実現を求めます。

### 記

1. 社会保障の維持・確保、防災・減災また脱炭素化対策、地域活性化にむけた取り組みや、デジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保をはかること。
2. とりわけ、子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充をはかること。また、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。
3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。
4. 引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種体制の確保、感染症対応業務のみに限定しない、より全体的な保健所体制・機能の強化、その他の新型コロナウイルス対応事業、また地域経済の活性化まで踏まえ、十分な財源措置をはかること。また、コロナ禍対策として行った固定資産税の軽減措置については2022年度をもって終了するとともに、今後、国の施策の一環として、各種税制の廃止や変更、また減税等を検討する際は、地方の財政運営における予見性を損なわないよう、十分に地方団体等の意見を反映し、慎重に検討すること。
5. 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円については持続可能な地域社会の維持・発展にむけて恒久的な財源とすること。また、同規模の財源確保はもとより、その拡充を含めて検討すること。
6. 会計年度任用職員制度の運用においては、今後も当該職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、さらなる財政需要を十分に満たすこと。
7. 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。
8. デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化にむけ、地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保するなど、十分な財源を保障すること。また、デジタル化が定着化していく過渡期において生じ得る行政需要についても、人材・財源を含めた対応を行うこと。
9. 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める地方公共団体への譲与額を増大させるよう、その譲与基準を見直すこと。
10. 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、市町村合併の算定特例の終了への対応、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

## 第2回臨時会(5月18日) 人事関係議案

副市長の選任について、同意しました。

### 副市長

前橋市青葉町  
清水 しみず 昭芳 あきよし

## 第2回臨時会(5月18日) 人事関係以外の議案

● 専決処分承認を求めることについて

・ 令和3年度安中市一般会計補正予算(第12号)

・ 令和3年度安中市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

・ 令和3年度安中市下水道事業会計補正予算(第2号)

● 専決処分の承認を求めることについて

・ 安中市市税条例の一部を改正する条例について

・ 安中市都市計画税条例の一部を改正する条例について

・ 安中市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

● 安中市国民健康保険税条例の一

部を改正する条例について

● 安中市介護保険条例の一部を改正する条例について

● 令和4年度安中市一般会計補正予算(第1号)

## 本会議・委員会の傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安中市議会では本会議、委員会の傍聴自粛をお願いしてまいりましたが、この頃の感染状況を考慮し、令和4年第2回定例会では自粛のお願いを解除いたしました。今後の議会については、その時々状況により判断されますので、安中市議会ホームページをご覧ください。安中市議会事務局までお問い合わせください。また、傍聴時には許可を得た方以外の撮影や録音は傍聴規則の規定により禁止されていますので、ご注意ください。

## 議会の映像配信

議会(本会議)の様子をご自宅のパソコンやお手持ちのスマートフォン・タブレット端末からもインターネット中継でご覧いただけます。過去の議会映像もインターネットの録画中継で見ることができます。映像配信は安中市のホームページ、安中市議会の議会中継へアクセスしてください。



このコードからも安中市議会のホームページにアクセスできます。

## 次の定例会(予定)

次の定例市議会は、9月2日から9月26日までの25日間の会期で開催される予定です。

◇ 2日 ≡ 本会議 開会

議案の上等等

◇ 20日 ≡ 本会議 一般質問

◇ 21日 ≡ 本会議 一般質問

◇ 26日 ≡ 本会議 委員長報告

採決等、閉会

## 編集後記

新市長の下、第2回定例会が開かれました。今までの方針の見直しや、市長が掲げる5つの公約の進め方など、市長が目指す安中市の今後の未来像が、市民に受け入れられていくのか、リーダーシップに期待するとともに、私も議会の一員として役目を果たしていきたいと思えます。また、一般質問では、公約についての質問が多数あり、前向きで明確な答弁を聞くことができました。

最後に、今後も編集委員として市民の皆様に分かりやすい議会だよりを心がけてまいります。

(金井)

### 連絡先

安中市役所 議会事務局宛  
☎382-1111 内線 1349番

### 編集委員

◎柳 沢 浩 之  
○長 嶋 陽 子  
櫻 井 ひろ江 松 本 次 男  
金 井 登美雄 小 林 克 行  
遠 間 大 和 壘 次 雄

